



## 今年度最終月

令和7年度も3月を迎えました。1～5年生は3月24日の修了式まであと16回、6年生は3月17日の卒業式まで12回の登校日数となりました。教員という仕事柄か12月より3月の方が1年の終わりを迎えるという感じが強くします。

さて、子どもたちは身体的な成長もありますが、小長井小学校の学校生活においては「こ（とば）・な（かま）・が（んぼり）・い（きいき）」をもとにした内面的な成長を目指して、学習や行事等に取り組んできました。

子どもたちの成長が右肩上がりであれば、それにこしたことはありません。しかし成長過程で、時には壁にあたったり、紆余曲折したり、足踏みしたりすることもあります。それでも少しずつ伸びが見られるよう様々な手立てを講じます。

これらは、すぐに成果が表れるものから、時間を経て徐々に浸透していくものまで様々です。しかし、成長過程において、その時期に応じた学習や体験を積んでいくことが適切なのかとも思います。

この時期、学校として、学年として、子どもたち自身として、今年度の何が成果で、何が課題であり、次年度にその成果をいかに伸ばし、課題をいかにクリアにしていくかの手立てを考えていくことの大切さを毎年感じています。

今年度を省みると、「こ・な・が・い」を機会あるごとに子どもたちに意識づけてきましたが、次年度は「ことば」の部分に焦点化した取組を展開する必要性を感じているところです。

読む・書く・話す・聞く・語彙・場に応じた話し方等々、学力にも生活にも基本となる重要な要素です。